

提出締切：2009年4月20日（月）

2007年度採択学内提案公募型研究推進プログラム「基盤的研究」 研究成果報告書  
(研究期間：2007年4月～2009年3月まで)

研究代表者	所属機関・職名： 産業社会学部・教授 氏名： 國廣敏文
研究テーマ	グローバル化と民主的ガバナンスの学際的・国際的総合研究

### I. 研究計画の概要

研究の計画について、概要を記述ください。

本研究は、「グローバル化」の現状とグローバル・ガバナンスの動態の複合的把握を踏まえて、民主的グローバル・ガバナンスのビジョン設定を目的として2007年4月に発足している。

本研究には学際的・国際的共同研究が求められるだけに、「人文科学研究所」付置のプロジェクトとした。また、チームに「幹事会」を置き、その定期的開催をもって、当初の「申請」目的に即して研究会やシンポジウムを組織するとともに、その成果を公刊することとした。そのため、学内外で国際的シンポジウムやワークショップの開催を組織し、研究員を派遣するとともに、叢書の発刊へ向けて編集作業に入ることにした。

この研究チームは「グローバル化」状況のなかで、伝統的「国民国家」型グローバル・システムが変容の過程にあるとの認識を共有し、その変容の実態をグローバル化とリージョナル化と結びつけることで、「国民国家」の現代的位相を明らかにするとともに、こうした越境型連接化の深化のなかで浮上しているグローバル・ガバナンス論や「グローバル民主政」論の動向分析を踏まえて、「平和と民主主義」の視点から現代の民主的ガバナンスのビジョンを提示することを目的として、共同研究に着手している。

### II. 研究成果の概要

2カ年の研究成果について、概要を記述ください。成果の詳細は3ページに記述ください。

本研究は、「幹事会」を中心として、当初の研究計画に即して進められ、「研究成果の詳細」欄に見られるような具体的な成果を残し得た。特徴的成果としては次を挙げることができる。

- (1)「人文科学研究所」を中心とする従前の成果を基礎に「国際シンポジウム」を学内外において、毎年度、春と秋に開催し、国際的共同研究を進めるとともに、国際的ネットワークを構築し得た。
- (2)「人文科学研究所」付置の他の研究プロジェクトと共同し、また、本チームの外国人研究者の寄稿も得て、「グローバル化の現代 現状と課題」と題する全2巻の研究成果を残し得た。
- (3)学内外で学際的共同研究を開催することで、学外研究者との研究協力のみならず、本学の学部間の学際的・複眼的共同研究網を構築し得た。

以上の点では一定の成果を得たと言える。ただ、「グローバル化」とは過程概念であるし、グローバル・ガバナンスの民主的システムの展望は「思考内実験」の局面にあるだけに、この点では、国際的研究成果の批判的整理のなかから「多層連接型」のグローバル・ガバナンスを展望し得るのではないかという共通認識に立ち得たと言えるが、その具体的な形状と接合理念の具体的提示には及び得なかった。この課題は研究の過程で構築し得た国際ネットワークを基礎とした今後の展開に委ねられることになった。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。